

令和4年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要  
〔指定管理者制度導入の適否〕に係る審査)

1 開催日時 令和4年5月20日(金) 10:00~10:18

2 開催場所 青森市役所議会棟4階第1委員会室

3 対象施設 青森産業展示館・青森市はまなす会館

4 出席者

(1) 選定評価委員 委員長 舘山 公(企画部次長)  
副委員長 工藤 拓実(総務部次長)  
委員 泉 宏明(環境部次長)  
委員 土岐 政温(都市整備部次長)  
委員 大久保綾子(教育委員会事務局教育次長)  
委員 桃野 敬(東北税理士会青森支部税理士)

(2) 施設所管課(経済部経済政策課)

主 幹 葛西 孝徳  
主 査 神 岳人

(3) 制度所管課(財政課)

副 参 事 阿部有一郎  
主 幹 宮崎 恭次  
主 査 盛 将秀

5 案 件 「指定管理者制度導入の適否」に係る審査

6 審査結果 全委員異議なく、全会一致で次のとおり了承された。

- (1) 指定管理制度導入の適否：適
- (2) 指定期間：5年間
- (3) 利用料金制：あり
- (4) 募集形態：公募
- (5) グルーピングの適否：適(2施設一括管理)

## 7 主な質疑内容

委員： 概要調書に記載の使用料収入として青森産業展示館は約 2,000 万円とあるが、これは指定管理料が約 2,000 万円ということか。

施設所管課：青森産業展示館は利用料金制を導入しているので、約 2,000 万円は利用料金収入額として記載している。

委員： 記載の情報を整理すると、使用料収入にある令和 4 年度の予算額の約 6,100 万円を両施設合算での収入として見込んでおり、全ての指定管理業務に要する支出が約 6,100 万円に満たないことから、当該差額分、いわゆる黒字分を市への納付金として約 132 千円が発生するという理解でよいか。

施設所管課：その通り。

委員： 年間で必要な経費と見込んだ額は約 6,000 万円ということか。

施設所管課：その通り。

委員： ここで気になるのは、令和 2 年度及び令和 3 年度の収入の落ち込みに対し、完全利用料金制はどうなるのか。収入が 5 割まで落ち込んでいることから、どうなるのか。

施設所管課：令和 2 年度及び令和 3 年度においては、全庁的な対応として、新型コロナウイルス感染症の影響による赤字は、市と指定管理者との管理業務に関する協定書の責任分担表に定めている不可抗力に該当することから、当該減収に伴う赤字分を市が指定管理料として支出し補填した。

令和 4 年度においても新型コロナウイルス感染症の影響により赤字が見込まれる場合は、施設所管課としては、令和 2 年度及び令和 3 年度と同様の対応を求めていると考えている。

委員： 収入と支出の差額分を指定管理料として支出しているということですね。それで令和 2 年度に指定管理料として約 280 万円が支出されているが、これはどういうことか。

施設所管課：この約 280 万円が先ほどご説明した赤字分を指定管理料として支出した額となる。

委員： 令和 3 年度は赤字がなかったのか。

施設所管課：配付資料作成時点では、令和 3 年度の収支決算額が確定していなかったため、記載がなかったものであるが、令和 3 年度は約 630 万円を赤字補填の指定管理料として支出している。

委員：令和2年度でみると、収入の約3,400万円に赤字補填分の約280万円を加え約4,000万円の収入で収支が成立するのであれば、令和4年度収入として約6,000万円を見込んでいることから、市に対し約1,000万円程度の納付があってもいいと思うのだが。

施設所管課：赤字補填額は収入と支出の差額であるが、この収入には、利用料金収入のほか、感染防止対策として休館した措置に対する青森市新型コロナウイルス感染症対策指定管理者支援補助金に加え、国からの持続化給付金等の支援金をも収入として含めている。

このため、利用料金収入以外の副収入も含めて赤字補填額を約280万円と算出しているため、副収入がなければ赤字額は更に増えていることから、実際には、約1,000万円程度の差額は発生しないものである。

委員：電気料などの光熱水費も利用料金収入で賄われているのか。休館すればそれも抑えられるということか。

施設所管課：その通り。

委員：令和5年度以降も黒字化が見込まれるという認識でよいか。

施設所管課：その通り。

委員：青森産業展示館は、特に指定管理者側での活動がなくても、施設利用の申込があり黒字化が図られるというイメージがあるが、自主事業は年間何回実施され利用料金収入額がどの程度あるのか。また、自主事業の実施回数の条件提示はしているのか。

施設所管課：自主事業の取扱いは、前回の募集要項において、積極的に実施するよう記載しているが、実施回数の指定まではしておりません。

実績としては、秋ごろに大農林水産祭という大規模な催事を主催しており利用料金として約120万円を収入している。

委員：自主事業の実施がなくても黒字が見込まれば良いと思うか。

施設所管課：黒字が多ければ、市への納付額が増えるので、当然に黒字化に向けた取組は進めていただきたいと考えている。

委員：完全利用料金制で、指定管理料の支出はないので、黒字が多額となった場合は、例えば修繕費に充てるなどというのも期待できると思うが、前回の募集時は何者の応募があったのか。

施設所管課：1 者あった。

委員：青森産業展示館の職員は2名となっており、随分減ったという印象だが業務はできているのか。営業などの活動ができないと思うのだが。

施設所管課：常時1名を配置しており、営業活動等で増員を要する場合は、近隣のはまなす会館からの配置により対応している。